

## 1. ひきこもりが疑われる障害者に係るヒアリング概要

### ○ 調査の目的（報告書冒頭に挿入）

一定期間、趣味などを除いて家から出ないひきこもりが疑われる障害者の状態について調べるため、市内委託相談支援事業所や関係機関にヒアリング調査を行いました。

### ○ 調査期間：2020年1月22日（水）～1月31日（金）

### ○ 調査方法：ヒアリング形式（一部アンケート自記式調査）にて実施。

### ○ 調査対象者：

- (1) 市内委託相談支援事業所（5カ所）
- (2) 柏市地域生活センターあいネット
- (3) かしわ地域若者サポートステーション
- (4) 市内精神科医療機関（2カ所）
- (5) 柏市教育委員会学校教育部児童生徒課

質問項目
問1. 継続的に相談対応をしているひきこもりの人数と年齢についてご教示ください。
問1-2. 上記のうち相談の端緒となった場面についてお尋ねします。相談のきっかけが本人、家族からの連絡からだったのか、あるいは他機関からの紹介・情報提供のいずれかであれば、以下の項目別に人数を回答してください。
問2-1. 認定を受けている各種の障害等級等
問2-2. 診断の有無及び入院歴
問3-1. 介護者（家族又は支援者）の状況について
問3-2. ひきこもりが疑われる当事者に係っている介護者（家族又は支援者）について、健康状況等特記すべき事項があればお答えください。
問4. ひきこもりの本人または家族等の介護者からの主な相談内容として共通するものがあればお答えください。また、世代や家庭環境等に応じた特徴的な相談内容があればお答えください。
問5. ひきこもりの相談支援の際、相談支援専門員として感じる困り事があれば回答してください。
問6. 貴法人で対応しているひきこもりが疑われるケースについて、1～3ケース程で結構ですので、具体的な状況をご教示ください。
問6-2. ケース1（以下、ケース2又はケース3についても同様の設問）について貴法人で対応するに至ったきっかけをお答えください。また、特に貴法人に情報提供等を行った（緊いだ）関係機関があればお答えください。
問6-3. ケース1の現在の支援・対応状況をお答えください。
問6-4. ケース1について、家族等介護者・支援者の状況をお答えください。
問7. （上記ケース1～3に限らず）市ではなぜひきこもりになってしまったのかの原因を把握したいと考えています。ひきこもりに至った①社会的な背景（会社組織や学校に通っていた時のこと、リストラ・退学等）・②家庭環境の影響、③病気の発症が原因となっている場合等について、ひきこもりに共通する特徴（又は世代ごとの特徴）があれば以下に記載してください。
問8. ひきこもりが疑われるケースについて、課題の「解決」に至った例や、解決に至らずとも継続的な支援・対応に至り安定したケースがあれば、その際の対応・支援内容についてご教示ください。